



愛知県教育委員会教育長 様

2017年7月21日

愛知県立高校の、現在実施されていない学校について、学校給食を実施すること求める請願

住所

氏名

宮崎邦彦

1 請願の趣旨

- (1) 行政を考える住民の会（事務局宮崎邦彦＝本件請願人）に、当事者から「シングルマザーの家庭にとって、高校生の、昼食の弁当を、用意することは、大変である。韓国等は給食がある（注 実態は不明）のになぜ、日本では、給食がないのですか、仕事は深夜までかかることになり、毎朝、弁当を用意するために、4時頃、おきて、用意することは、大変です。弁当を作らないでいい日はほっとする。」ということを知り、

定時制高校等において、給食は実施されているということを知り、

- (2) さらに、「高校生の、子供がいる、年代は、仕事上でも、日常の日程も相当厳しいという状況にあるということである」と明言された。
- (3) こどもの貧困解決に向け、企業がシングルマザーに正社員の機会を提供する支援に乗り出した（2017年7月3日朝日新聞）とある。

正規社員等に向けて、取り組める人も含めて、愛知県も「ひとり親家庭に関する福祉制度のしおり（愛知県資料）」の中にある、「生活全般にわたる相談・指導を実施する・・・支援する」ということである。

- (4) 生活支援の一端として、県立学校における学校給食を実施することは、理にかなっているといえる。

給食の形態、等については、学校の特色作り、地域に根差した献立等いろいろ考えられるところではあろうが、早急に「ひとり親の支援」のための給食体制を実施してほしいということである。

- (5) 日常に追われて、保護者が追い詰められたら、生徒が学校に通えなくなることは想定される。少しでも保護者の負担を減らしてもらいたいということで請願に至る。

2 請願事項

愛知県立高校の、現在実施されていない学校について、学校給食を実施すること求める。